

公園施設長寿命化修繕事業

- ・ 開設から30年を超える公園が全体の47%を占め、10年後には約74%
- ・ 子どもたちが利用する遊具は、耐用年数15年を超えるものが、5年後には約90%
- ・ 設置から25年を超えるバスケットゴールのボードと支柱をつなぐ部分の日常点検では発見できなかった金属疲労が原因でボードが落下した。



公園利用者の安全・
安心を確保するため
に…

公園施設の
高齢化

公園施設長寿命化修繕事業の推進

公園施設の機能保全に支障となる劣化や損傷を未然に把握。特に遊具については、事故防止を最優先するため、年に1回の専門的な健全度調査を行う。
(平成30年4月都市公園法の改正により調査の実施が必須)

ライフサイクルコストの縮減、維持管理費の平準化

効果的・効率的な維持管理

定期的な健全度調査の実施

計画の策定・見直し

計画に基づく維持管理

計画的な補修、更新を行うことで、劣化の進行を遅らせ、施設を長持ちさせる

平成31年度事業内容

- ・ 公園施設マネジメント計画策定 (0.1~2haの301公園対象)
- ・ 計画に基づく事業の実施 (2ha以上の38公園対象)
- ・ 遊戯施設 (遊具等) の健全度調査